

## 令和6年度 バルツァ・ゴードル事業報告（理事会案）

### 看護療育

利用者様が安心して生活の場を楽しめるように、環境を整え、尊厳を守り看護・療育が共働して務めた。特に、受け入れ年齢層の違いや医療ケアの増加に戸惑うことから、カンファレンスを行うことで個々の「実践力」が身に付き、レベルアップすることで対応が可能となった。このことから、ショートステイや入所者を柔軟に受け入れることができたと考えられる。

今年度のショートステイ受け入れ実績は延べ236日であった。電子カルテ機能を活かしながら、受け入れ時のケア内容の共有について病棟内では統一できてきている。物品管理について今年度は具体的に取り組むことができず、次年度へ持ち越し課題とする。時短職員やパートタイム職員の定時退勤が出来ていない状況が多々ある。働き続けられる職場にするために、職場全体でそれぞれの働き方やサポートが必要な部分を把握・理解し、多様な働き方を認め合える職場風土を醸成していく必要があると考えており、次年度への継続課題とする。

### 薬剤課

薬剤科の業務内容は以下の通りです。

1. 調剤業務
2. 薬を与薬カートへセット
3. 在庫管理
4. 医薬品情報収集と提供
5. 病棟業務
6. 他業種連携
7. 院外勉強会や講習会へ参加し、薬剤師としての専門知識のレベルアップに努める

2024年度は電子カルテの操作に少しずつ慣れ、医療安全面を考えてより良い利用方法を決定していく年でした。

いくつかのヒヤリハットが発生してしまいましたが、その都度反省し、見直し、改善策を他部署スタッフと相談しながら決定し、業務を遂行して参りました。

また在庫管理については、まだ出荷調整の影響をうける薬剤が多くある状況が続いております。

欠品は絶対に起こしてはいけません。状況を見て供給が安定してきた薬剤に関しては無駄を削減していくことを考え、在庫額が今回以上には増えないように努力してまいりたいと思います。

今後も常に安全性と業務効率との向上をはかり、一人一人が責任感を持ち、正直に業務を行っていく職場にしていきたいと思っております。

### 栄養科

食事提供については引き続き大きな事故も無く、無事に終えることができた。厨房の運営においても、委託会社との連携も良好で、安定かつ衛生的に運営できたと考える。

栄養科の体制として、常勤管理栄養士1名で業務を行ってきた。献立や発注業務、病棟等との連携など業務内容を精査しながら、大きな混乱なく遂行できたと考える。

### 給食委員会

委員会メンバー：医師・看護師長・療育主任・言語聴覚士・管理栄養士・委託給食会社現場責任者

内容： 利用者の『食』に付随する事を、それぞれの専門知識を有する病棟スタッフと協議する委員会。

2024年度は4月、6月、8月、10月、12月、2月の計6回実施した。栄養科と病棟スタッフ、他の専門職との意志疎通や連携を図る重要な機会である。

参加メンバーが各病棟の管理職が担うことにより、スムーズな話し合いを行うことができている。

## リハビリテーション科

入所利用者様には個別リハビリテーションを中心に実施し一人当たり2単位または3単位で実施した。1日の目標単位数を12単位としてリハビリテーション業務を行い、平均で11.2単位だった。

科内スタッフの技術向上を目的に月に1度程度ケーススタディーを実施した。

リハビリテーション目的の短期入所利用者様に対してリハビリテーションを実施し、ご家族への指導等を行った。

病棟で開催される、イベントに各療法士の特徴を生かした関りを行った。

プール活動をリハビリテーション科が主導して行い、院内感染や体調不良者を除くほぼ全利用者様が入水することができた。

姿勢保持装置や装具類作製のコーディネートを行った。多職種で意見交換を行いながら、利用者様のよりよい生活のために必要な機能や姿勢を考え、業者との意見交換を行った。

7月に常勤作業療法士2名が退職し、9月からリハビリテーションの算定基準が脳血管リハビリテーションⅡから障害児者リハビリテーションに変更になった。

## 地域支援

地域連携室が9月より発足し、入所者や在宅の方、在宅支援部門の方々と密に連絡や連携を図るよう努めている。地域の中での当院の役割や使命を自覚し、ショートステイの積極的な受け入れや入所受入に努めている。現在発生している空床に関しても、早期に満床に迎えるよう、県内問わず訪問を行い、当院の利用を促している。当院だけでなく、地域で障害持つ方々やその家族の暮らしを守れるよう、資源開拓を行い協働をすすめていく。ショートステイに関しては、積極的な受け入れと声かけを行う事で、4・5床の利用の日を増やすことができている。今後も当院でできる方法で、地域のニーズに応えていく体制であり続ける。

## 医療総務室

昨年度6月より立ち上がった部署のため、院内での役割を模索しながら業務を行ってきました。中でも院内における各部署間の調整、スタッフやご利用者さま及びご家族さまとの対話を大切にしてきました。

### <評価・課題>

チーム・バルツァとして利用者にとっての最善の利益追求にとって必要なスタッフの質の向上に向け、各病棟師長等とも話し合いを通じて模索を行ってきた。具体的な方策まではいかなかったため、次年度には目的を明確にして取り組む必要があると考えています。

地域との連携強化として、バルCaféを通じて家族やコミュニティーナースなど、様々な人たちと繋がる取り組みをはじめました。

人材の確保という点から、採用に係る実務に携わりました。バルツァ・ゴードルが求める職員像や求められる人材を明確にし、必要人材の確保へ継続的にかかわっていけるようにと考えています。

# 令和6年度事業報告書

## 特別養護老人ホームサール・ナート

### 1. 基本方針

今年度においても、やはりコロナ感染は収まらず、感染経路不明のクラスターが数回発生するなど、施設経営面においても大きな痛手となった。

それに合わせて、住宅型有料老人ホーム及びサ高住などの施設の乱立により、特養入所希望の待機者数が激減し、空室が発生しても、なかなか短い期間で次の入所者が確保できずこの点においても施設経営に大きな影響が出た。これらのことは、大きな課題として残った年であった。次年度については、空室が出た後、速やかに次のご入居者を確保できるよう重点的をおき取り組んで行く。

### 2. 事業目標

#### I 特別養護老人ホーム サール・ナートの重点（目標）課題

##### (1) 利用者様のケアの質の向上

今年度、担当者会議は対面で開催することとなり、ご利用者様やご家族様の意向を聞くことをできたことは良かったが、担当者会議に参加できなかったご家族様は電話連絡のみで終わってしまうことが多かった。ケアプランの確認も十分にできていないケースもあり、ご家族様との連携を今後は、どのように密に行うことができるかが課題として残った。また、面会は予約無しで実施していたが、施設内での新型コロナウイルス感染によるクラスター発生もあり、面会時間の制限無しから15分間の面会時間へと切り替えた。外出、外泊の要望も多く聴かれていたが、冠婚葬祭以外は現在も中止とし、ご家族様のご理解を得るよう説明を進めていた。今後も感染状況を鑑み面会時間や外出・外泊の判断をする必要がある。

音楽療法は再開できていないが、訪問歯科、集団リハビリは再開し、利用者様の健康増進を図ることができたが、まだまだ全面的にコロナ前の生活と同じように戻せておらず次年度への課題として残った。

##### (2) 職員の知識・技術の向上を図り利用者様のケアの質の向上に繋げる。

今年度は法定研修については実施できたが、それ以外の研修については、人員の問題等もあり思うように実施できなかった。次年度は内外研修共に如何に実施し参加させることができるかが課題として残った。

##### (3) 地域機関との連携を図る

5類になったとはいえ、上半期は施設内での新型コロナウイルスのクラスター発生、下半期は世間でのインフルエンザや新型コロナウイルスといった感染症の流行もあり、地域の方々との連携を図ることはできなかった。また、人員体制上、ホームページの更

新や広報誌による広報活動を行うことも難しく、実施できない状況であった。地域の方々との連携を図ることはできなかったが、今年度は、星ヶ丘医療センターとサール・ナート診療所と新たに連携登録医の契約を結び、ご利用者様の状態悪化時スムーズに対応できる体制づくりの構築に努めた。

## <栄養課>

### ① 栄養ケアマネジメントの取り組み

今年度は、栄養ケアマネジメントを通して、ご入居者様の個々の栄養状態の把握を行い、低栄養の予防、改善に努めた。

次年度においても引き続き、各ご利用者様にあった適切な栄養管理を行い、多職種と円滑に栄養改善に取り組み、生活の場の支援に努めて行く。

又、次年度から新たにワイズマンシステムの導入にあたり、栄養マネジメントを既存のエクセルからソフトへの入力に切り替え、他職種との連携をより充実したものにしていく準備に努めた。

### ② 給食管理の取り組み

食材の値上げに伴う価格精査をし、出来るだけ質を落とさず、入居者様のニーズにあった食事サービスに取り組んできた。今後も、コスト管理を怠らず、変化に富んだ、楽しんで喜んでもらえる食事サービスの提供に努める。

## <診療所>

今年度は、管理医師、産業医ともに新体制となり、特養のご入居者様・ご家族様が安心して生活していただけるように、日々の健康管理に努めた。しかしながら、特養のご入居者様の高齢化及び重度化により、ご入院される方やご逝去させる方が多く、看取りケアの件数も過去最高となった。次年度においては、今後のケア・看護方針についても再度検討していく。

### (1) 感染予防対策の徹底

感染予防対策においては、次年度も引き続き行っていく。

### (2) 看護師業務全体を見直し、業務の効率化、業務改善を図っていく。

今年度においてはほとんど実施できなかった。次年度についてはまずは業務に対する職員の意識改革を行い業務改善に取り組んで行く。

## II 短期入所生活介護（ショートステイ）の重点（目標）課題

コロナウイルスが5類へと移行されてはいるが、高齢者施設・病院等においては、まだまだコロナのクラスターが発生しており、当施設においてもコロナ感染によるクラスター

一が何度かあり稼働率に大きな影響を受けた。次年度においても、コロナ感染予防対策を徹底し、ご利用様が安全にそして安心してサービスをお使いいただけるように取り組んでいく。

**(1) 感染予防対策を徹底し、安全で安心してご利用していただけるサービス提供に努める。**

感染予防対策を徹底してはきたが、残念ながら、今年度も複数回、侵入経路が特定できないコロナのクラスターが発生してしまった。次年度においても引き続き感染予防対策を徹底していく。

**(2) 年間稼働率95%を目標とする**

空床利用をしながらではあるが、年間稼働率99.75%を達成できた。

次年度も引き続き目標稼働率95%以上を達成できるように取り組んで行く。

### **Ⅲ. 通所介護（デイサービスセンター）の 重点(目標) 課題**

#### **1.基本方針**

ご利用様が継続して住み慣れた自宅で長く暮らすことのできるようにデイサービスでは脳トレやレクリエーション、体操を充実して行うようにした。また、ご利用様の要望で下肢筋力維持・向上を行えるように毎日、歩行訓練を行うようにした。ひとり一人が楽しんで過ごせるように個別で対応できる体制を整え、長くデイサービスを利用して頂けるように努めてきた。

#### **2.今年度の重点事業目標**

**(1) 自立支援と在宅生活の維持の援助**

ケアプラン見直し時等、定期的に通所介護計画書の見直しを行い個別で対応できるようにしてきた。個別のニーズを知る為にも、ご利用様・ご家族様との関わりを密に行うようにして、自立して自宅で長く生活できるように努めてきた。

**(2) サービスの質の向上**

一人ひとりの事を知る為にもご利用様・ご家族様とのコミュニケーションを密に行い対応してきた。ご家族様が援助に不安を感じている時には早急にケアマネジャーと連絡を取り合い対応した。すぐに動くことでご利用様やご家族様の精神的不安を取り除くことができたと思われる。また職員間で毎日、ミーティングを行いその日にあったことの情報共有や対応を話し合うことができた。職員同士が確認し合い統一したケアを実施することができた。

研修はなかなか行うことができなかったが、法定研修や新人職員の認知症研修は実施

することはできた。

### (3) 運営の安定

継続して長くデイサービスを利用して頂けるように、ひとり一人のデイサービスでの様子をご家族様に報告ができるようにコミュニケーションをとってきた。また、事業所を定期的にあまりご利用者様の情報報告を行ってきた。ご家族様や担当のケアマネジャーにデイサービスでの様子が分かるように毎月新聞（ハッピーデイ）を作成して渡してきた。

また、新しく担当する事業所にはこまめに連絡を取り信頼を得られるように努めてきた。

デイサービス・ショートステイ・特養と連携して入居に繋げていけたケースもあった。引き続き新規利用が増えるように地域との関りを増やし稼働率向上に努めていく。

### (4) リスク管理

在宅や施設で事故がなくなるようにデイサービス利用時は身体を動かすプログラムを増やすようにした。ご利用者様の要望で毎日の歩行訓練を行うようにした。

デイサービス利用時に転倒して骨折した事故が 1 件あった。今後、事故がないように振り返りを行い今後活かすように努めた。

また、送迎時の事故が 3 件あったが大事には至らなかった。運転手同士で危険な場所の共有を行い安全に送迎ができるように努めた。

感染症は、単発で感染症にかかる職員やご利用者様はいたが、他者に感染がうつることはなかった。普段からの感染予防ができていたと思われる。引き続き感染予防に努めていく。

## 3.稼働率目標

稼働率 55%（平均 16 名）以上を目標に営業活動を行う。

|                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 4 月：13.6 人（46%） | 10 月：14.1 人（48%） |
| 5 月：12.5 人（43%） | 11 月：13.6 人（46%） |
| 6 月：13.1 人（45%） | 12 月：12.5 人（43%） |
| 7 月：14.0 人（48%） | 1 月：13.4 人（46%）  |
| 8 月：14.1 人（48%） | 2 月：12.9 人（44%）  |
| 9 月：13.2 人（45%） | 3 月：13.4 人（46%）  |

⇒ 目標にしていた稼働率には及ばず平均の稼働率が 46%であった。（平均人数：13.7 人）  
新規のご利用者様の受け入れも行えてはいたが、ご入居やご入院等でご利用が減となつてしまった。来年度も引き続き経営の安定化を図る為にもご利用者様の定着・新規のご利用の受け入れを進めていく。

#### 4.年間行事予定

|            |      |            |      |
|------------|------|------------|------|
| 4月：お花見     | (中止) | 10月：運動会    | (実施) |
| 5月：喫茶      | (中止) | 11月：焼き芋    | (実施) |
| 6月：買い物     | (中止) | 12月：クリスマス会 | (実施) |
| 7月：夏祭り(全体) | (中止) | 1月：初詣      | (中止) |
| 8月：夏祭り     | (実施) | 2月：節分      | (実施) |
| 9月：敬老会     | (実施) | 3月：春祭り     | (中止) |

#### IV. ケアプランセンターの重点(目標)課題

ご利用者が可能な限り住み慣れた自宅で自立した日常生活を送るために、特定のサービスや事業者に偏ることがないように、公正かつ誠実にその業務を行った。

今後も、介護と医療の複合ニーズを抱えるご利用者様や認知症高齢者・一人暮らし高齢者の増加が考えられる。その一方では、現役世代の生産年齢人口の減少も見込まれ、どのように高齢者を支えていくかが課題である。さまざまなサービスの活用だけではなく地域資源等の活用も視野に入れ、ご利用様が望む暮らしを人生の最期まで続けることができるように必要な機関と連携し支援をしていく。

##### (1) 安定した事業運営

目標としていた、ケアプラン作成数1人平均月平均30人は達成する事ができたが、年間利用者数は要介護認定者694人で昨年度より21人減・要支援209人で、制度改正で3分の1換算になった事もあり、約57.4人で51人減となっている。

ご利用者様の重度化と適切なタイミングでの区分変更申請を行い、要介護3・要介護4の認定を受けたご利用者様が増加し、算定要件が厳密化した加算についても要件を満たした場合はもれなく算定をしたが、年間利用者数が減少した事もあり保険請求額は減収となっている。

今後は、ケアプラン作成数月平均65件(介護予防含む)を達成する為に、定期的な営業活動を行い他市を含む認定調査依頼を積極的に受けて収入の安定を目指す。

##### 【年間総利用者数】

|          |        |      |      |
|----------|--------|------|------|
| 年間利用者数   | 要介護1～5 | 694人 | 21人減 |
| 年間前年度増減数 | 要介護1   | 145人 | 14人減 |
|          | 要介護2   | 263人 | 17人減 |
|          | 要介護3   | 149人 | 26人増 |
|          | 要介護4   | 103人 | 25人増 |

|  |        |              |      |
|--|--------|--------------|------|
|  | 要介護5   | 34人          | 41人減 |
|  | 要支援1～2 | 209人(3分の1換算) | 51人減 |

【 ケアプラン作成数 月平均作成数 】

|        | 4月   | 5月   | 6月   | 7月 | 8月 | 9月   | 10月  | 11月 | 12月  | 1月 | 2月   | 3月   | 合計    |
|--------|------|------|------|----|----|------|------|-----|------|----|------|------|-------|
| 介護     | 55   | 64   | 59   | 58 | 62 | 60   | 57   | 58  | 57   | 56 | 52   | 56   | 694   |
| 予防     | 18   | 17   | 19   | 18 | 18 | 15   | 17   | 18  | 18   | 18 | 17   | 16   | 209   |
| 3分の1換算 | 6    | 5.6  | 6.3  | 6  | 6  | 3    | 5.6  | 6   | 6    | 6  | 5.6  | 5.3  | 57.4  |
| 職員数    | 2    | 2    | 2    | 2  | 2  | 2    | 2    | 2   | 2    | 2  | 2    | 2    | 24    |
| プラン作成数 | 61   | 69.6 | 65.3 | 64 | 68 | 63   | 62.6 | 64  | 63   | 62 | 57.6 | 61.3 | 761.4 |
| 月平均数   | 30.5 | 34.8 | 32.6 | 32 | 34 | 31.5 | 31.3 | 32  | 31.5 | 31 | 28.8 | 30.6 | 31.7  |

【 新規 契約数・委託数・終了数 】

|    | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 介護 | 1  | 3  | 0  | 3  | 3  | 1  | 2   | 1   | 1   | 1  | 0  | 1  | 17 |
| 予防 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0   | 0   | 1  | 0  | 0  | 1  |
| 終了 | 2  | 2  | 1  | 0  | 3  | 3  | 0   | 1   | 0   | 5  | 1  | 3  | 21 |

【新規依頼先等内訳】

|                   |     |
|-------------------|-----|
| 高齢者サポートセンター 高齢者生協 | 6人  |
| 病院                | 1人  |
| 直接依頼（ご家族様）        | 10人 |

【取得加算】

|                |     |
|----------------|-----|
| 居宅支援初回加算       | 17人 |
| 居宅支援入院時情報連携加算Ⅰ | 6回  |
| 居宅支援入院時情報連携加算Ⅱ | 12回 |
| 居宅支援通院時情報連携加算  | 1人  |

【認定調査】

|     |     |
|-----|-----|
| 枚方市 | 46件 |
| 大阪市 | 10件 |
| 高槻市 | 6件  |
| 豊中市 | 1件  |

|         |       |
|---------|-------|
| 四 條 畷 市 | 1件    |
| 合 計     | 6 4 件 |

#### (2) 居宅介護支援事業所の質の向上

主任介護支援専門員として、介護支援専門員実務研修における見学・観察実習の受け入れを行った。

今後も、実習生の受け入れ指導をする事で自身を振り返り日々の業務の確認や質の向上につなげる。

また、地域包括支援センター主催の研修や連絡会に参加し関係機関との顔の見える関係作りご利用者様の支援に生かす。

#### (3) 各部署や関係機関との連携の強化

特養併設の居宅介護支援事業所としての強みを生かし、今年度は特養サール・ナーへ7人の入居支援を行う事ができた。今後も、各部署と連携しスムーズなサービス利用につなげていく事にご利用者様の満足度も上げていく。

#### 【紹介率】

|                      |             |
|----------------------|-------------|
| サール・ナートデイサービス        | 46%(170人)   |
| サール・ナートかたのデイサービスセンター | 37%(23人)    |
| サール・ナートショートステイ       | 58.75%(94人) |
| サール・ナートかたのショートステイ    | 21.25%(34人) |
| サール・ナート 入所           | 7人          |

#### (4) 地域貢献活動

介護保険サービスの利用に至らないが、退院後の在宅生活に向けての相談や介護保険サービス利用についての相談があり、相談内容や状況によっては自宅に訪問し対応する事ができた。

今後も身近な相談窓口として、さまざまな課題が解決できるようにその役割を担っていく。

また、福祉用具（車いす・ポータブルトイレ・歩行器・杖）の地域の方々を対象にした無料一時貸出しについては、車椅子2件・ポータブルトイレ2件・杖1件の貸し出しを行う事ができた。

福祉用具の無料貸し出しについては今後も継続して行い地域の方々に活用して頂く。

# 地域密着型介護老人福祉施設 サール・ナートかたの 令 6 年 度 事 業 報 告

## 地域密着型特養

### 1) 特養入所の安定した稼働

今年度の入所申込件数 28 件（要介護 1.2 含む） 新規入居者は 11 名（内ショート利用者 7 名） 平均稼働率 96% 入院等で稼働しなかったベッド日数は合計 421 であった。申込件数がコロナ前の水準まで戻っていることや緊急 SS の受入で空きベッドを 316 日利用できたことが良い結果に繋がった。今後は更に高い目標を目指す。達成課題として急な入院での空床ができると対応できない点を解決したい。

### 2) 人材確保・定着・育成

確保：介護職は職安からの入職者 2 名 特定技能 1 名 その他の入職 1 名であった。求人を出しているが問い合わせはほぼなく今後も確保が難しい状況は続く見通し  
定着：介護職の退職は非常勤 4 名 常勤 2 名 看護師は退職なく安定した。有休は付与数に対して 8 割消化できたが、気持ちよく働ける環境づくりとして職員間でのコミュニケーションに課題を残している  
育成：内部研修の充実や課題に対するチームケアの実践で育成を図れた。次年度はエッセイター研修への参加を計画的に進め今年度少なかった施設外へ出て行く機会を作りたい

### 3) 介護の取り組み

#### ①季節感のある環境づくり

各ユニットや施設での行事・設えで取り組めたが毎年恒例になりつつある。新しい取組も計画したい

#### ②生活の質の向上を図る

面会時間の緩和や行事でご家族様と一緒に支援する機会を作り向上を図れた

#### ③多職種との協働

課題に対する多職種でのチームケアを実践する機会が作れたが、日常的な協働に対しては課題が残る

### 4) 栄養課の取り組み

#### ①栄養ケアマネジメントの取組

入所者様個々の栄養状態を把握し多職種と円滑に低栄養の予防・改善に取り組めた。次年度は介護ソフトの導入でより充実した多職種との連携を図りたい

#### ②給食管理の取組

食事提供の事故が大小あった。安全な食事サービス提供に対する課題であり再発防止に努める。食材の値上げに伴う価格精査、質の維持、ニーズにあった取組を実践することができた。

### 5) 医務の取り組み

①健康管理：疾病による健康管理の見通しが計画し難いケースがあり課題が残った

②感染症への取組：研修や訓練を通して質の向上を図ることができた

③チームケア：感染症発症時には多職種との連携で速やかな対応ができた

④コスト意識：医療機器の丁寧な使用とメンテナンスを行い、無駄のないよう意識して取り組めた

### 6) 地域との連携

ボランティアや地域民生委員の方に施設を開放し見学会や相談会を実施。運営推進会議は定期的には実施できなかったことや、地域に出向くことが今後の課題として残った

## 短期入所生活介護

### ① 年間稼働率 90%を目指す

稼働率 93.8%で目標を達成できた。7月 97.1%（空き 9日）が最高 3月 88.7%（空き 35日）以外は全ての月で 90%以上であった。加えて空床利用もあるので実質は更に高い利用率。要因にロング SS 枠を 1つ増やしたこと、空きの案内に対する反応がコロナ以前の状態に戻ってきたことと考えるが、年間で 226日空きがあったことへの対策、新規利用者数が減っていることへの対策が今後の課題

### ② 様々なニーズに応える環境整備

年度途中からユニット正職数を 1人増で 5人体制にした。（週 5日・日勤のみ非常勤 1名退職を受けて）結果として困難ケースや緊急での受入にしっかりと対応することができた

### ③ 質の向上

ユニット内での研修を計画的に行い質の向上に努めた。また職員 5人体制以降はユニットでのレクリエーション活動ができるようになったことで直接生活支援の場面でも取り組むことができた

## 地域密着型通所介護

### 1) 年間稼働率 80%目標

稼働率 72%で目標達成できなかった。通所介護・総合事業それぞれの新規プログラム構築には至らなかったが具体的な支援方法は確立でき、年度終わりには問い合わせや体験依頼が増えた。職員研修も法定以上に取り組むことができたので、受入体制を強化し次年度は目標を達成目指す

### 2) 地域との繋がり作り

福祉・介護支援活動「けあかふえ」との繋がりで地域の方へ施設を開放し交流する機会は作れた。またサービスご利用者様のご家族にも広報したことで、けあかふえを通して在宅介護の不安や悩みを伺い、サービス内容を越えた支援提案をする機会となり良い結果に繋がった。前年度同様に市の地域プロジェクトにも参加し地域関係者・事業所間との交流や情報交換も継続することができた。

### 3) 家族支援・ケアマネジャー・多職種との連携

サービスの併用されている方が増加、居宅介護支援専門員からの依頼で事業所間での情報共有する機会が増えている。対応方法や支援の視点が幅広くなりケアの充実に繋がっているが、事業所間での体制や取組内容において出来ることに差が多いため課題も残った。家族支援としてサービス利用時の様子を細かく報告することを継続。けあかふえを通して「事業所を利用している家族のみが集まり相談する場所づくり」の要望を知り、今後は在宅介護の不安や悩みに対して事業所として支援者同士の本音や体験、相談をする機会やケア方法の提案や実践する機会づくりが連携強化に繋がると考察している

### 4) 自立支援の取り組み

「選択・決定・管理」を一連のプログラムとして企画し個々に実施することができた。居宅介護支援事業所からも視点が面白いと評価を受けている一方、まだ取組人数が少ないことが課題

### 5) 認知症ケア・中重度ケア・家族の負担軽減への環境設定

一人ひとりの身体・環境状態に合わせて寄り添えるケアの情報共有体制は整いつつあるが、「認知症ケア」「中重度ケア」「家族の負担軽減」それぞれの本質的な機能を確立することは出来なかった。

# 令和6年度 枚方市地域包括支援センターサークル・ナート事業報告書

## <令和6年度事業目標>

- 1) 職員体制を維持する。
- 2) 第5圏域の地域包括ケアシステムの推進（新たなネットワーク構築）
- 3) 権利擁護（認知症）・介護予防・包括的継続的支援に資する事業の実施

## 評価

### 目標 1)について

職員の入れ替わりはあったが体制は変わらず維持できた。

### 目標 2)について

関連する事業や地域ケア会議開催により新たなネットワーク構築はできており、地域包括ケアシステム構築を進めることはできた。

### 目標 3)について

予定事業は全て充実した内容で全うし、11についてはニーズの増大傾向とセンター職員が直接介護予防ケアマネジメントを担当する割合が全体の6割程度を維持したことによって、目標は達成できた。

## 総括

2025 年を迎え業務量は増大しているが、職員体制が維持できたことで全体的には計画通り充実した内容で運営でき、市の令和6年度実地指導も過去最良の評価であった。個々の職員が長く定着し、スキルアップも順調であることとチームワークの良さが要因と考える。

総合相談件数が昨年度よりも減少していることについては件数そのものが減少しているのではなく、記録漏れの要因ではないかと推察している。指定介護予防支援事業の直接担当件数の多さが包括的支援事業を圧迫しているとも考えられるため、枚方市の居宅介護支援事業所が指定を受ける件数の動向をみながら、今以上に委託率が減少しないよう業務量のバランスをとり、地域福祉に貢献できる事業所運営に努めていく必要がある。

## 実績

### ① 包括的支援事業（総合相談件数）

|         | R 元年度  | R2 年度    | R3 年度  | R4 年度 | R5 年度  | R6 年度 |
|---------|--------|----------|--------|-------|--------|-------|
| 総合相談総件数 | 1920 件 | 2280 件 ↑ | 2483 ↑ | 2388  | 2694 ↑ | 2461  |

### ② 指定介護予防支援事業

<介護予防支援計画・第1号介護予防ケアマネジメント実績/R6年4月~R7年3月>

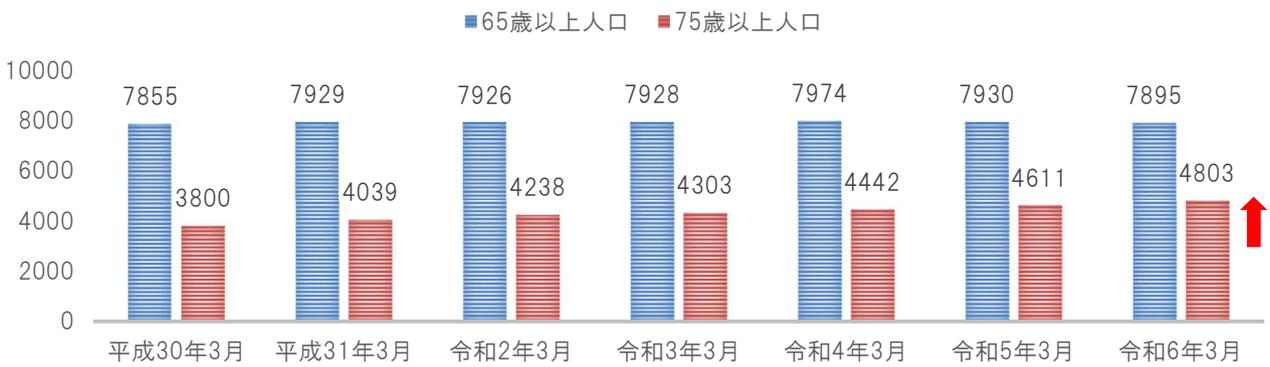
|       | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 直プラン  | 215 | 204 | 198 | 199 | 191 | 195 | 196 | 211 | 204 | 199 | 209 | 215 |
| 委託プラン | 120 | 123 | 126 | 134 | 128 | 130 | 132 | 136 | 131 | 132 | 131 | 128 |
| 合計    | 335 | 327 | 324 | 333 | 319 | 325 | 328 | 347 | 335 | 331 | 340 | 343 |

### 年度別プラン実績数



※参考 5 圏域高齢者人口の推移

### 5圏域高齢者人口推移



社会福祉法人バルツァ事業会 曾津保育園 曾津保育園分園

令和6年度事業報告書

法人所在地 : 奈良市鹿野園町1000番1号

施設所在地(本園) : 奈良市八条2丁目91番地

施設所在地(分園) : 奈良市四条大路5丁目2番55号

1. 保育園の運営

(1) 定員(本園) : 140名 定員(分園) : 20名

(2) 一時保育 : 7名(ひまわり組)

(3) 年齢別・月別入所児童数(各月初日現在) 本園

| 年齢 月    |     | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  | 1   | 2   | 3   | 合計   |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 0歳児     | 標準  | 5   | 8   | 8   | 9   | 9   | 9   | 9   | 9   | 9   | 12  | 12  | 12  | 111  |
|         | 短時間 | 1   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1    |
| 1歳児     | 標準  | 21  | 20  | 19  | 19  | 18  | 18  | 18  | 18  | 18  | 19  | 20  | 20  | 228  |
|         | 短時間 | 3   | 4   | 5   | 5   | 6   | 6   | 6   | 6   | 6   | 5   | 5   | 5   | 62   |
| 2歳児     | 標準  | 20  | 21  | 21  | 21  | 21  | 22  | 22  | 22  | 22  | 22  | 21  | 21  | 25   |
|         | 短時間 | 4   | 3   | 3   | 3   | 3   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 3   | 3   | 50   |
| 3歳児     | 標準  | 23  | 23  | 24  | 23  | 23  | 24  | 24  | 25  | 25  | 23  | 23  | 23  | 283  |
|         | 短時間 | 4   | 4   | 3   | 4   | 4   | 3   | 3   | 2   | 2   | 3   | 3   | 3   | 38   |
| 4歳児     | 標準  | 24  | 24  | 24  | 23  | 23  | 23  | 22  | 22  | 22  | 22  | 21  | 21  | 271  |
|         | 短時間 | 2   | 2   | 2   | 3   | 3   | 3   | 4   | 4   | 4   | 4   | 5   | 5   | 41   |
| 5歳児     | 標準  | 25  | 25  | 25  | 25  | 25  | 25  | 25  | 25  | 24  | 24  | 24  | 24  | 296  |
|         | 短時間 | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 12   |
| 入園      |     | 18  | 3   | 0   | 1   | 0   | 1   | 0   | 1   | 0   | 3   | 1   | 0   | 28   |
| 退園      |     | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 0   | 0   | 1   | 1   | 0   | 0   | 3    |
| 園児合計    |     | 133 | 135 | 135 | 136 | 136 | 136 | 136 | 136 | 135 | 137 | 138 | 138 | 1631 |
| 延長保育    | 前延長 | 81  | 43  | 48  | 18  | 23  | 16  | 9   | 12  | 17  | 20  | 19  | 20  | 326  |
|         | 後延長 | 2   | 1   | 1   | 0   | 0   | 0   | 1   | 1   | 1   | 3   | 1   | 6   | 17   |
| 一時預かり保育 |     | 68  | 68  | 82  | 85  | 67  | 83  | 104 | 87  | 97  | 87  | 84  | 101 | 1013 |

※延長保育 前延長 7:45~利用、後延長 19:31~利用

年齢別・月別入所児童数(各月初日現在) 分園

| 年齢 月 |     | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 合計  |
|------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 1歳児  | 標準  | 4  | 4  | 4  | 4  | 6  | 7  | 8  | 8  | 6  | 6  | 6  | 6  | 69  |
|      | 短時間 | 2  | 2  | 2  | 3  | 2  | 2  | 2  | 2  | 3  | 3  | 3  | 3  | 29  |
| 2歳児  | 標準  | 2  | 3  | 3  | 3  | 4  | 4  | 5  | 5  | 4  | 4  | 4  | 6  | 47  |
|      | 短時間 | 4  | 5  | 5  | 6  | 5  | 5  | 4  | 4  | 5  | 5  | 5  | 3  | 56  |
| 入園   |     | 6  | 0  | 0  | 2  | 2  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 12  |
| 退園   |     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2  | 0  | 0  | 0  | 0  | 2   |
| 園児合計 | 5   | 12 | 14 | 14 | 16 | 15 | 18 | 19 | 19 | 18 | 18 | 18 | 18 | 199 |

(4) 職員人員について

|          | 園長 | 主任 | 保育士 | 保育士<br>常勤  | 保育士<br>非常勤  | 栄養士 | 調理師     | 調理師<br>常勤 | 非常勤<br>調理士 | 事務員その他 | 合計 |
|----------|----|----|-----|------------|-------------|-----|---------|-----------|------------|--------|----|
| 4月1日在籍数  | 1  | 1  | 17  | 4<br>派2    | 10<br>派3    | 1   |         |           |            | 1      | 34 |
| 年間退職者    |    |    | 1   | 0          |             |     |         |           |            |        | 1  |
| 年間採用者    |    |    | 4   | 0          | 1           |     |         |           |            |        | 5  |
| 3月31日在職数 | 1  | 1  | 16  | 4<br>(派遣2) | 10<br>(派遣4) | 1   | 2<br>委託 | 2<br>委託   |            | 1      | 38 |

2. 保育実施状況

<保育内容報告>

乳児期は養護を中心とした保育とし、幼児期は教育を中心とした保育とした。  
各年齢に応じた保育カリキュラムで全体的な計画を作成し保育を行った。

<あいづ保育園分園報告>

- ・今年度は最終、2歳9名、1歳児9名 計18名である。
- 行事交流は「こいのぼり」「たなぼた」「焼き芋パーティー」「作品展」に参加。
- ※普段の自由遊び、避難訓練については参加。
- 分園はR5年4月1日より都跡こども園内にて「會津保育園分園」として開園
- 月に一回、都城こども園と會津保育園で打ち合わせをする。

【障害児保育の取り組み】

<現状・対象児>

- ・診断がついている子どもは11名（3歳児特児1名・4歳児特児1名 診断4名・5歳児特児2名 診断3名）
- ・加配保育士による個別支援を行いながら集団への取り組みに参加できるようにしている。
- ・保護者の方と家庭での様子や保育園での様子を踏まえ行事への参加方法を話し合う。
- ・保育をする中で、気になる子どもがいる為、慎重に子どもの家庭や保育園の様子を情報交換する。  
保護者の思いに寄り添いながら子どもの発達に合わせて支援を行い、支援施設や制度を使いながら就学に向けてつないでいく。

① 対応

- ・療育相談だけでなく、保護者の思いを組み入れながら日々の保育を行う。  
奈良市の巡回相談も定期的に行われている。支援施設の数も増えているが、利用数が多く受け入れ幅が狭い問題点は奈良市としても重要課題としている。
- ・療育支援施設より定期的に園への訪問を行う。その際、両施設で同じ認識をもって関わられるようにする。

## ② 協力、団体施設

ST→ 佃クリニック・フラーテル・ハッピーリング

OT→ ゆめばたけ・東大寺福祉療育病院・ラブリー・フラーテル・ハッピーリング・UTキッズ

## ③ 5歳児については、小学校との連携、教育センターとの関わりをもとに、支援学級への入級、支援学校入学について連絡を図る。(今年度については支援学級：5名)

### <要観察児の取り組み>

- ・身体的虐待・心理的虐待・ネグレクトについての要観察児への取り組みを行っている。

(本年度、11月に身体的虐待として1家族兄弟2名、保育中に児童相談所より10/31~12/20措置された)

卒園前には、小学校。バンビ(学童)、子ども支援課、保育園が集まりケース会議を実施。

子ども支援・保護者支援の方法等を各施設で報告し今後につなげていく。

今年度によるケース会議の件数は25件である

- ・対象児の視診については毎日欠かさず行い、傷・ケガがある場合は写真を撮って報告する。保護者の気持ちに寄り添いながら子育ての方法などを伝えていく。
- ・本年度については夫婦の間でトラブルがあり警察沙汰になることがあった。子どもたちが巻き込まれないよう関係機関と連絡を取りながら行っていく。

### <一時保育>

R6年度について今年も目標の900名は達成した。

一時保育から入所に繋がることも増えてきた。

## (4) 外部講師の指導状況

英会話 体育教室 マーチング指導(5歳児のみ)

今年度で大阪城ホールでもマーチングは終了となる

## (5) 実施した特別保育事業状況

- ・延長保育促進事業・一時保育事業・運動会・サマーフェスタ・お泊り代替え行事
- ・マーチングカーニバル・生活学習発表会(0歳児~5歳児 100年会館にて)
- ・秋の遠足(4.5歳児)・お別れ会(全園児・職員)・お別れ遠足(ハシヤキッズ)

## 4. 健康管理状況

### (1) 園児

内科 年2回 歯科 年1回 眼科 年1回(3・4・5歳児)

耳鼻咽喉科 年1回(3・4・5歳児) 検尿(3・4・5歳児)

身体測定(毎月) ※入所前検診(内科)

### (2) 職員

定期健康診断 検便 インフルエンザ接種

## 5. 非常災害危険防止等防災訓練の実施状況

避難・消火・通報訓練(毎月)

- ・消防隊員の下で避難・消火・通報の訓練を行う。(11月)
- ・応急処置の訓練を救急隊の下で研修する。(2月)

6. 地域団体・施設・住民実施した交流事業

- ・移動動物園、苗植え（苗植えの指導）、フルート演奏会、吹奏楽コンサート（ママさんブラス）

<外部>

- ・仮面ライダーショー（抽選に当たった為）

7. 苦情処理受付状況

苦情受付件数 4 件。全て解決済み

8. 音楽研修

- ① 株式会社ブレーメン：堀之内先生よりマーチングの研修を受ける。  
同音楽研修の集大成として、マーチングカーニバル（大阪城ホール）に参加。
- ② ピアノスキルアップ講座：主任はじめ講師を選出した。全職員のピアノスキルに応じて課題を考え、午睡中に個々にあった方法を見だし練習し、この繰り返しを一年行った。  
今年度の対象者は 2 名。園の行事等が無かったため、普段の保育の中で積極的に弾いていた。

9. 保護者連絡

今までは紙ベースで保護者とのやり取りを行っていたが、R3 年度よりコドモンを導入することにより携帯で連絡・お便り・請求などを行う。また、職員の書類（指導案・計画など）もコドモンにて管理する。R4 年度からはハットヒヤリについてもコドモンにて管理。

10. 今後の課題

- ① 行事についても日々の保育を生かしながら子どもや職員が無理のないように工夫しながら生活環境を整えていく。
- ② 課題であった園庭についても R4 年 3 月に業者が入り修繕することが出来たが、水はけが悪く新たな課題が出来た。引き続き安全確保の為、観察していく。  
會津保育園駐車場の横の土地を購入。来年度より遊具、バス用駐車場の工事に入る予定。
- ③ 来年度より 2 階廊下のエアコン設置予定。保育、保護者の送迎の際に使用。
- ④ 都跡こども園に移行し 3 年となる。
  - ・都城こども 2 歳児が會津本園に移行する園児は 1 名の予定。  
ほとんどの子どもたちが都跡こども園の上がる子希望が多い為、市と話し合いを行いエスカレーター式で都跡こども園に上られる様に決定した。  
今後も新しい環境の中でも子どもたちが快適に過ごせるようにしていく。

# 令和6年度事業報告

會津生駒保育園

## 1. 総括

今年度も基準より多くの職員を配置しているため、子ども一人一人に寄り添ったゆとりある保育を行うことができた。

一時保育については予約の問い合わせが殺到したにもかかわらず一日の利用上限を超え、やむなくお断りすることが多くあった。地域の保護者のニーズに応えられるよう、予約の取り方や職員配置等を見直していく必要がある。

小学校接続では職員と小学校教諭との意見交換等の会議も多く行うことで連携を深め、園児が安心して小学校に入学できるよう努めた。

保育士不足が深刻化する中、昨年に引き続き、職員の離職を防ぐために今後も課題として管理者等が、保育所内の様子を把握し、職員の困りごと等をいち早く察知し適切な助言を行うなどの取り組みが必要である。今年度よりノンコンタクトタイムを導入し、勤務時間内に事務時間を確保することで職員自身も余裕を持って業務を行えるよう、働きやすい職場環境の整備を行った。今後も継続し、職員が働きたい職場作りを進めていく。

## 2. 保育園の運営

### (1) 令和6年度職員配置(令和7年3月31日現在)

|       |                       |
|-------|-----------------------|
| 施設長   | 1人                    |
| 主任保育士 | 1人                    |
| 保育士   | 15人(常勤12人、非常勤2人、派遣1人) |
| 事務員   | 1人                    |
| 保育補助  | 3人(非常勤2人、派遣1人)        |
| 嘱託医   | 2人(小児科 歯科)            |

### (2) 令和6年度の入所児延人数は次の通りでした。

|          |          |          |         |
|----------|----------|----------|---------|
| 0歳児 117人 | 1歳児 167人 | 2歳児 168人 |         |
| 3歳児 168人 | 4歳児 165人 | 5歳児 168人 | 合計 953人 |

### (3) 実施した特別保育事業

1. 延長保育事業 延長保育の利用人数は延べ542人で、前年比73人の増加した。
2. 一時預かりの利用者数は716人で前年度と比較すると98人減少した。

## 3. 園児の処遇

園児の健康管理は毎月の身体測定と、年2回の内科検診を実施し、歯科検診は5月に実施。尿検査を6月に実施。視力検査を10月に実施した。また生駒市保健師による聴

力検査を行い園児の健康管理を図った。

園児の栄養管理は給食会議を毎月開催し、園と委託業者が連携し園児の栄養管理と健康管理に努めた。

#### 4. 職員研修

令和6年度の職員研修は内部研修を13回、外部研修は23回、生駒市人権教育推進委員会に15回、キャリアアップ研修に2名の職員が参加した。

養成校からの保育実習は2校より6名の受け入れを行った。(10.11.2月)

#### 5. 防災・防犯

##### (1) 防災訓練

1. 児童福祉施設最低基準による避難・消火訓練は毎月実施した。
2. 消防法による消防訓練を生駒市消防署の指導のもと、7月に実施した。
3. 消防設備点検を6月、11月に実施した。

##### (2) 防犯訓練

1. 生駒警察署員・生駒市防災安全課による安全講習を2月に実施した。
2. 生駒市防災安全課・交通指導員による交通安全教室を11月に実施した。(4.5歳児のみ参加)
3. 生駒警察による外部からの不審者侵入対応訓練を10月に実施した。
4. 生駒警察署員・少年補導員による防犯紙芝居による指導。(4.5歳児のみ参加)

#### 6. 地域との関わり

令和6年度の地域支援の取り組みは、園庭開放および親子教室を開催した。  
拠点広場事業「すくすく」として地域の親子の場として保育室を提供した。  
106名が来園された。

(1) 園庭解放 毎週月曜日 10:00~12:00

(2) 親子教室 子育て中の保護者の皆様を対象とした親子教室を開催した。

開催月は、4月~翌年3月 第2・第4水曜日に開催した。

(延べ41組の親子が参加)

#### 7. 苦情解決

令和6年度の苦情は保護者から1件寄せられた。(話し合いにより解決済み)

# 令和6年度 會津壱分保育園事業報告

## 1. 保育園の運営

(1) 令和6年度職員配置(令和7年3月31日現在)

|       |    |        |          |         |    |      |    |
|-------|----|--------|----------|---------|----|------|----|
| 園長    | 1人 | 保育士    | 14人      | 保育補助    | 2人 | 嘱託医  | 2人 |
| 主任保育士 | 1人 | 非常勤保育士 | 9人(派遣含む) | 調理員(委託) | 5人 | シルバー | 4人 |

(2) 令和5年度の入所児童数の延べ人数 ※前年比3人減

|    | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計    |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 0歳 | 12  | 12  | 12  | 12  | 12  | 13  | 13  | 13  | 13  | 13  | 13  | 13  | 138  |
| 1歳 | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 276  |
| 2歳 | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 288  |
| 3歳 | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 288  |
| 4歳 | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 23  | 276  |
| 5歳 | 22  | 22  | 22  | 22  | 22  | 22  | 22  | 22  | 22  | 22  | 22  | 22  | 264  |
| 計  | 128 | 128 | 128 | 128 | 128 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 129 | 1543 |

## 2. 職員研修・健康管理

(1) ○外部研修への参加

| キャリアパス | 保健 | 接遇 | 虐待 | OJT | 救命 | 保育 | 和太鼓 | 音楽 |
|--------|----|----|----|-----|----|----|-----|----|
| 2人     | 1人 | 1人 | 3人 | 1人  | 4人 | 8人 | 1人  | 1人 |

○キャリアアップ研修(専門リーダー7人・分野別リーダー4人) ※リモート研修

| 乳児保育      | 幼児保育      | 障害児保育     | 食育・アレルギー対応 | 保健衛生・安全対策 | 保護者・子育て支援 | マネジメント    |
|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 7.5H2回-4人 | 7.5H2回-2人 | 7.5H2回-1人 | 7.5H2回-5人  | 7.5H2回-1人 | 7.5H2回-3人 | 7.5H2回-1人 |

○園内研修の実施 ※研修部と各部長が中心となり実施

|    |                      |     |                      |     |                     |
|----|----------------------|-----|----------------------|-----|---------------------|
| 4月 | 園内外の危険箇所、成長発達理解      | 8月  | 運動遊び、リトミック、コミュニケーション | 12月 | ドッチボール指導、乳幼児期の心が育つ  |
| 5月 | ミルクの作り方・離乳食、こどもの時間認知 | 9月  | 運動遊び、ノロウイルスと感染対策     | 1月  | 就学に向けて、幼保連携とは、園の防災  |
| 6月 | 不適切保育、夏季の活動での安全管理    | 10月 | 嘔吐処理法、感覚統合について       | 2月  | グループ担当制、探索行動を支える環境  |
| 7月 | 合奏・楽器の指導法、チームで実現する保育 | 11月 | ピアニカ指導法、食育アレルギー      | 3月  | 危険箇所おさらい、虐待、信頼される保育 |

※職員会議(毎月)、各委員会会議(随時) 各会議の実施を行うことで保育を円滑に進められた。

(2)職員の健康管理

○定期健康診断(年1回・4月)を実施 ○細菌検査(年2回・6月、12月) ※乳児担当保士は毎月実施

○インフルエンザ対策として流行期前(11月)に予防接種を受けた。

## 3. 園児の健康管理・衛生管理

| 毎月 | 身体測定(全園児) | 5月 | 歯科検診(2~5歳)尿検査(3~5歳) | 6.10月 | 内科検診(全園児) | 1.2月 | 聴力・張力検査(4.5歳) |
|----|-----------|----|---------------------|-------|-----------|------|---------------|
|----|-----------|----|---------------------|-------|-----------|------|---------------|

4. 給食・おやつ取り組み 名阪食品株式会社と連携し、月1回の給食会議、献立改善、行事食提案等、安心安全で楽しい食事提供が出来た。(行事食：鯉のぼりオムライス、忍者ランチ、月見ウサギサンド、おせち風プレート他)

## 5. 保育内容について

○行事や保育・食育活動(夏野菜の収穫は随時)

|    |                               |    |                  |     |                                |    |                          |
|----|-------------------------------|----|------------------|-----|--------------------------------|----|--------------------------|
| 4月 | 入園式・進級式<br>苗植え                | 7月 | ジャガイモ堀り<br>プール開き | 10月 | 4.5歳園外保育                       | 1月 | 作品展                      |
| 5月 | 運動会<br>4.5歳園外保育               | 8月 | お楽しみ会(年長)        | 11月 | 稲刈り<br>芋ほり                     | 2月 | 豆まき、イワシ焼き                |
| 6月 | 焼き玉ねぎ大会<br>お箸指導(年長)<br>七夕・夏祭り | 9月 | 種まき              | 12月 | 発表会(0.1歳児)<br>おもちゃつき<br>クリスマス会 | 3月 | お別れ会<br>移動動物園<br>卒園式、修了式 |

※保育参観(7月、9月)、給食参観(10月、2月)実施。給食試食会を行った。

## 6. 地域との関わり

○保幼小交流会(壱分幼稚園、いちぶちどり保育園、壱分小学校、姉妹園)

|    |                   |     |                  |     |           |    |         |
|----|-------------------|-----|------------------|-----|-----------|----|---------|
| 4月 | 保幼小会議             | 10月 | 小学校見学            | 11月 | 小学校秋まつり参加 | 1月 | 保幼小会議   |
| 5月 | 壱幼交流会、保幼小会議、小学校訪問 |     | 壱幼交流会<br>小学校給食体験 |     | 會津保育園交流会  | 2月 | 會津生駒交流会 |
| 6月 | ちどり保育園交流会         |     | ちどり保育園交流会        |     |           | 3月 | 會津生駒交流会 |

○地域の行事：いこいこ祭り(11月)年長児の参加(雨天中止)○職業体験受け入れ(11月)南中学校4名、大瀬中学校4名

○くつろぎの里(高齢者サービス)と手紙、手作りおもちゃを通しての交流。

○壱分町西自治会の農園にて、地域の方とさつま芋堀りに参加(5歳児・3歳児)

○実習生の受け入れについて ※( )はボランティア

|                 |  |    |  |            |                                |    |                         |
|-----------------|--|----|--|------------|--------------------------------|----|-------------------------|
| 6.8.9.10<br>11月 | 白鳳短期大学看護学部<br>看護実習25人<br>(大阪こども専門学校)2名 | 8月 | 奈良学園大学1人、<br>京都女子大学1名<br>(大和大学白鳳短期大)2人 | 10月<br>11月 | 大和大学白鳳短期大学部2人<br>大和大学白鳳短期大学部2人 | 2月 | 奈良学園大学1名<br>大阪こども専門学校1人 |
|-----------------|--|----|--|------------|--------------------------------|----|-------------------------|

7. 苦情対応 ○ご意見BOXによる苦情や要望0件、事務所に直接要望2件

## 8. 事故・災害への危機管理

(1)各種訓練の充実を図る ※各関係機関と連携し訓練を行う

|    |            |    |         |      |        |    |        |    |             |
|----|------------|----|---------|------|--------|----|--------|----|-------------|
| 毎月 | 避難・消火・地震訓練 | 6月 | 不審者対応研修 | 6.1月 | 消防通報訓練 | 9月 | 交通安全教室 | 2月 | 消防通報訓練、防犯教室 |
|----|------------|----|---------|------|--------|----|--------|----|-------------|

(2)保育環境の整備 ○防災倉庫、防災おくるみ、アルミ衝立の購入 ※生駒市機能強化費補助金にて対応

○保育室空調取り付け工事、厨房設備修繕工事、エコキュート修繕工事 ※生駒市修繕補助金にて対応

○乳児用滑り台、屋外用おままごとキッチンの設置 ※子育て拠点事業補助金にて対応

## 9. 実施した特別保育事業

(1)延長保育事業 午後6時30分～午後7時30分 ※前年比772人減

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計    |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|------|
| 94 | 86 | 57 | 58 | 78 | 72 | 69  | 59  | 47  | 59 | 55 | 46 | 750人 |

(2)一時預かり保育事業 月～金：午前8時30分～午後4時30分 ※前年比612人増

|    | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計     |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 半日 | 5  | 6  | 9  | 10 | 9  | 22 | 27  | 29  | 19  | 20  | 21  | 8   | 185人  |
| 1日 | 44 | 28 | 34 | 45 | 58 | 51 | 72  | 101 | 92  | 97  | 105 | 112 | 839人  |
| 延べ | 49 | 34 | 43 | 55 | 67 | 73 | 99  | 130 | 111 | 117 | 126 | 120 | 1024人 |

(3)心身障がい児保育事業 3歳児に加配保育士1名 \*発達支援教材の購入(補助金にて対応)

(4)子育て支援拠点事業(こもれびひろば) 毎週：月・水・金9：00～14：00まで※前年度比101組増

|   | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計    |
|---|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|------|
| 組 | 9  | 14 | 24 | 12 | 10 | 32 | 45  | 14  | 11  | 17 | 18 | 23 | 229組 |

(5)親子教室(0歳コース毎月第2金曜日・1.2歳コース毎月第2水曜日) 10：00～11：00まで

|      | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計   |
|------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 0歳   |    |    | 3  | 5  | 3  | 5   |     | 1   | 2  | 4  | 7  | 30組 |
| 1.2歳 |    |    | 3  | 2  | 0  | 5   |     | 2   | 3  | 0  | 3  | 18組 |

## 10. 総括

従来の保育に戻り保育参観を再開、加えて給食参観と試食会を取り入れた。家庭で気になっていた食事面や給食の味付けなど、保護者の方に伝えるよい時間となった。年長児は地域の保育園、幼稚園、小学校と「交流会」の実施に至り、就学前の準備が十分に行えたと感じる。前年度に減少した一時預かり、子育て拠点事業の利用者は大きく増加した。反対に、延長保育利用者が大きく減少した。保護者の働き方が多様化してきていると感じる。今後も地域のニーズや行政の動向に注視していく。